



①サポートクラブ奮闘中

山の道復興プロジェクト

歌津てんぐのヤマ学校

ヤマ学校では8月、東京の「西巣鴨中学校地域サポートクラブ」の皆さんと一緒に、江戸時代の街道跡「気仙道」の整備に取り組みました。



②再生!ヤマの道

we support!

RQ

災害教育センター

「東北に黒煙を送ろう!大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけさきた』
「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに來たよ」という
意味である。

「山の道復興プロジェクト」は、今回の震災で津波が届かなかった古い山道を整備することで、隣の集落に山越えしていく「山遊びの道」「トレイル」を復活させようという試みです。

三陸のリアス式海岸地形では、大量輸送ができる平坦な「ハマの道」と、起伏があり狭い「ヤマの道」の両方がある。後者が災害時などのバックアップになっていたといえます。

しかし、薪炭が使われなくなって、森の中の小道は荒れて使われなくなりました。「いざという時、そういう道が大事だべなあ」と、ヤマの道の必要性を見直す声が地元で聞かれるようになりました。

サポートクラブの中学生たちは、伊里前川を渡って森に分け入り、津波が川を2km遡った地点にある「中在」という集落から、道らしき跡を覆う藪との格闘を開始しました。(写真①)
草を抜き、枝を払い、チェーンソーも動員して、近くにある「白山」集落までの道を再生しました(写真②)

作業の途中、津波に追われた人たちが一夜を明かしたという古い納屋を探検。(写真③)ヤマの道は、確かに今回も地域の人たちを救ったのだという事実が、ひしひしと伝わってきました。

ヤマに学ぶ「道の再生」は、まだまだ続きます。ご期待下さい!



③1963年のカレンダーが掛かっていたそうです

9/23 RQ 鱒淵小学校閉所式カウントダウン!ですが……

緊急告知

ボランティアがまだまだ足りません!

閉所が決定してから今日まで、毎日15名ほどのボランティアと地域の皆さんとで物資の整理、清掃などを行っています。しかし、23日の閉所式に、気持ちよく地元の皆さんをお迎えできる状態にするには、まだやるべきことがたくさんあります。ぜひ皆さんのお力をお貸しください!

申し込み url はこちら→<http://www.rq-center.jp/news/696>

(RQ 災害教育センター→★鱒淵小学校閉所式、お掃除ボランティア、閉所式参加者募集中)



ふりかえり企画

RQ 活動年表

余語姉さんが唐桑で「土俵」づくりに勤しみ、長靴が似合うと褒められていたのがもう一年も前のことになりました。漁師の跡を継ぐ決意を固められたという若者(当時19歳)、頑張っているのでしょうか?

生活再建支援

(以降現在に至る) ↓

- 9/22 台風15号の片付け@河北 (床上浸水発生、再び泥出し作業)
- 9/23-25 「東松島復興市」出店
- 9/24 ネイチャーゲーム協会主催「全国銘菓お茶っこ」
- 9/26 小泉「ひなたカフェ」オープン
- 9/30 RQ 活動支援金募金受付終了

いちやりばちゅーでーアゲイン!余語晶子姉さん再び唐桑へ (一泊二日の強行軍)

10/2 宿浦の早馬神社大祭で神輿担ぎ

次回「寒露朔日号」に続く